

年中行事には是非ご参加ください

年中行事（正月祈祷・春秋彼岸・お盆法要）には是非ご参加ください。お盆の法要（おせがき）は近在の和尚様方

が出頭されて厳肅に行われます。春と秋の彼岸は、工夫をこらした催し物をしています。正月祈祷は一年をすがすがしい気分始めるための10分ほどの法要です。本堂はすべて椅子席です。お墓参りをするだけでは供養にはなりません。寺での行事にご参加ください。

お参りはご家族そろって！

理解いただけます。

寺やお墓参りはご家族でお参りください。自然と親から子へ、子から孫へと引き継がれます。寺との関係も自然と

年忌法要後の食事は寺でもできます

壇信徒会館（三階建）は、年忌法要後の食事にお使いいただけます。壇信徒会館の二階は椅子席で十八席。三階は畳に座布団で四十名くらゐまで会食できます。出張して食事を用意してくれる店もご紹介できます。

墓所の小さな工事でも寺へご連絡ください

昨秋、墓地の水道の排水溝でセメントを洗い流した業者がいて、排水管がつまり、修理いたしました。

墓所の簡単な修理をした業者のようで、寺へ前もつての連絡はありませんでした。そのため、だれがやったのかは不明です。

これまで、各家の墓所を大きく改修する時は、施工する石材店に工事をする上での注意事項などがありますので、寺へご連絡ください。とお知らせしてきましたが、小さな工事でも、前もつて寺へお知らせくださるようお願いいたします。

なお、墓地を整備したため、十力所ほどの新しい区画があります。ご親戚やお知り合いが必要とされる方がおられましたら、お頒けすることができます。詳しいことは寺へ直接連絡ください。

別紙に「霊園管理費のお願い」を同封しました。

編集後記

○大雪でした。みなさん被害甚大のこととお見舞いもうしあげます。墓地の管理棟の雨樋が残雪でつぶれました。寺の境内も、雨樋がいくつか壊れたのと、山門前の松の枝が折れました。長さ三メートルほどの枝です。捨てるしかないのですが、見事な枝振りだ忍びない。花瓶に入る大きさにして本尊さまにお供えしました。本堂前の楓も折れました。少し前から枯れ枝がめだち元気がなかったのですが、雪の重さに耐えられませんでした。根元から伐採しなければなりません。いっにもなく花の咲く春が待ち遠しい今年です。

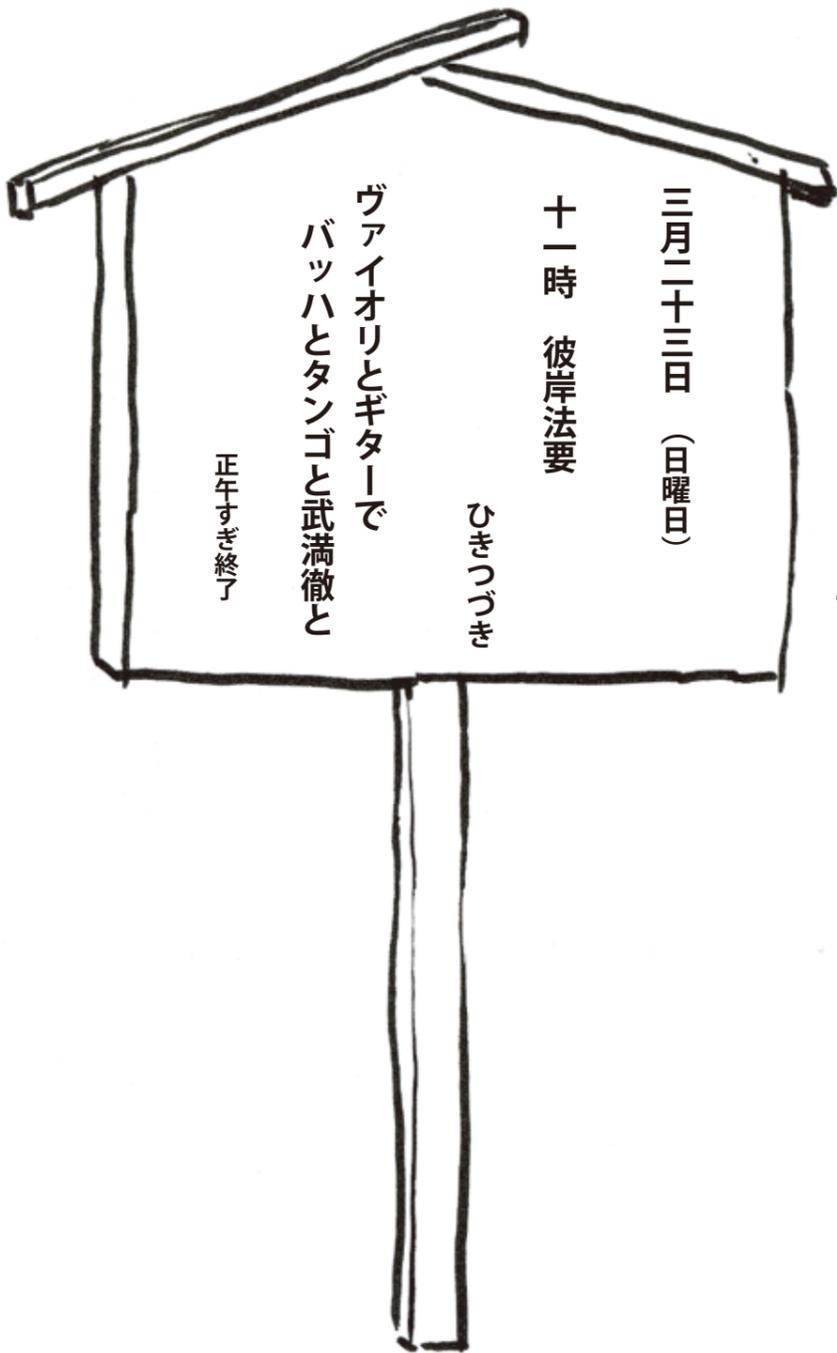
○花といえば、能楽の世阿弥の花伝書に、「見る人の心に珍しきと知る所、すなわちおもしるき心なり」という一節があります。「レパートリーを増やして手をかえ品をかえて珍しいのが面白い」といった意味でしょうか。なんでもつまらないより面白い方がいい。彼岸法要だって、お坊さんの法話があり、音楽があり、落語だってあれば、面白いじゃないですか。「面白い」のもともとの意味は、「目の前が白く明るくなること」と辞書が教えてくれました。今年の松岩寺の春を明るくしてくれるのは、ヴァイオリンとギターの音色です。

○最後に宣伝をひとつ。仏教専門の『大法輪』という月刊誌があります。定価八百円です。この四月号に『暮らして生かす禅ライフのすすめ』と題して住職の拙文が掲載されます。大きな書店の店頭にはあるはずですが短文だから、書店での立ち読みでもよいけれど、購入して読んでいただけると、もっとうれしい。

（住職記）

本堂は全部椅子席です。席を用意する都合上、ご出席の方は電話・FAX等でご連絡ください。

春の彼岸は法要後、ヴァイオリンとギターのミニ・コンサートです。ギターとヴァイオリンという取り合わせは珍しいのではないのでしょうか。珍しいということは、あまりないということ。あまりないことだから、聞いておかないといつも通りに、終了後粗飯の用意があります。ご家族でお越しください。おまちしています。



3月18日（火曜日）から23日（日曜日）まで、墓地では花と線香を用意しております。なお、霊園管理費のお願いが別紙にあります。ご覧下さい。